

事業所名

社会福祉法人 佐賀新栄会 児童発達支援オレンジルーム

支援プログラム

作成日

2024年 9月 11日

法人（事業所）理念		伸び伸びとした温かい環境の中で子ども一人ひとりが安心して自分らしく過ごせる場をめざし自信と意欲をもって、夢ある未来を楽しく歩む力を育てます。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最善の利益の保障 ・地域社会への参加・包括の推進と合理的配慮 ・家庭支援の重視 							
営業時間		9時	0分から	16時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行うことによって、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。 ・日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもの適した身体的・精神的・社会的訓練などを行うリハビリテーションを実施します。 ・生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるよう環境を整える。また、特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な操作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。 ・姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援します。 ・自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。 ・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援します。 ・保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器を活用できるよう支援します。 ・感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚・触覚等の感覚等を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行います。 ・知覚から行動への認知過程の発達環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。 ・認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮します。また、こだわりや偏食等に対する支援を行います。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行います。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行います。 ・話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 ・指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 ・発達障害の子どもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 ・各種の文字・記号・絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援します。 ・手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 ・遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。 ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。 ・周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。 ・大人を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援します。 ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・レスパイトや就労等の預りニーズに対応するための支援 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な移行を見据えて支援目標や支援内容を設定しての本人への発達支援 ・保育所等と並行利用を行っている子どもに対し、障害特性等を踏まえた一貫した支援を行うため、並行利用先や学校等と子どもの状態や支援内容についての情報共有や支援内容等のすり合わせを行う等の連携・支援の取組 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通う保育所等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み ・子どもに支援を行う発達障害者支援センターや医療的ケア児支援センター、地域生活拠点等との連携の取り組み ・子どもが利用する相談支援事業所やとの生活支援や発達支援における連携の取組 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のスタッフ間の意見交換 ・日々のご家族との意見交換 ・日常的に、計画→実行→振り返り→計画のサイクルを実行していくこと 			
主な行事等		お花見散歩、親子バス旅行、春の大運動会、七夕会、秋祭り、泥んこ遊び、夏わくわくチャレンジデー、夏祭り夕涼み会、敬老の日ありがとう会、秋のふれあいコンサート、秋の遠足、バルーンフェスタキッズデー、芋掘り、七五三宮参り、森林公園プチバス遠足、ミュージカルフェスタ、クリスマス会、もちつき大会、おやつ作り、節分豆まき大会、日本伝統文化祭、ひな祭り会、お別れ遠足、卒園式、食育、誕生会・入園おめでとう会、Family-Day							